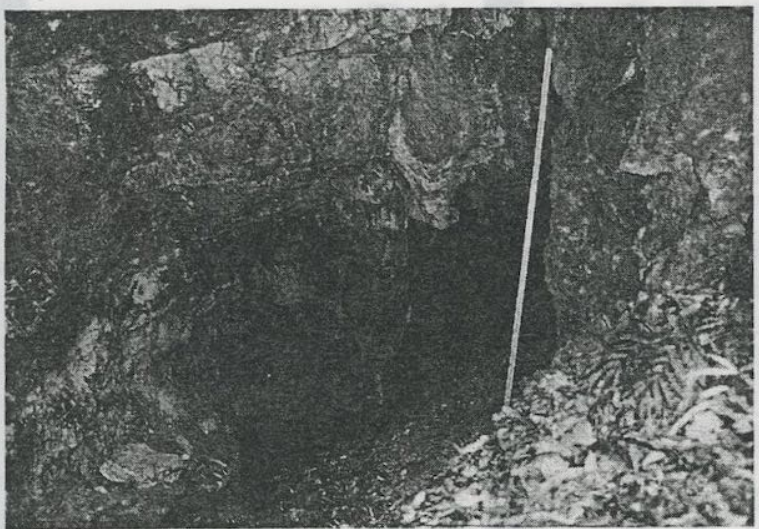


土の中からのメッセージ(3)

昭和五十二年、三和町開発委員会が上水無瀬公共林道付近の山中で鍾乳洞を発見しました。長い年月の間に洞窟は土砂でかなり埋め立てられていたため、土砂の層にしたがって順次取り除いていきました。その結果、第三層目で鹿の骨を発見、ついで第四層目で木炭や灰などとともに土器を発見しました。

専門家の鑑定によれば、骨は四歳ぐらいの鹿であることがわかりました。約三十点見つかった土器は今から数千年前、縄文時代の中期から後期にかけての



ものであることが判明しました。しかしながら洞窟の内部に生活の痕跡はなく、石灰岩採掘のために取り除かれた洞窟の入口あたりが利用されていたものと思われます。

三和町や伊深町には洞窟や岩陰^{かげ}(岩がひさしのようにつきでている場所)が多くありますが、そこから遺跡が今後新たに発見される可能性は十分あると考えられます。

今回は、次の方々から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成四年五月分)

○大正時代の写真 五十一枚

(篠原花子さん/太田町)

○近世俳諧資料 一点

(兼松茂弘さん/深田町)

○考古資料(土師器) 二点

(坂井忍さん/蜂屋町)

○綿繰り機など 九点

(佐合伝さん/下米田町)

○古文書、考古資料 約三百点

(桑原庄助さん/本郷町)

近い将来の博物館建設に向けて情報や資料を集めています。資料は見せていただくだけでも結構ですので、市社会教育課(内線三六二)まで情報をお寄せください。